

木馬会会報 (第72号)

* NHKマイルカップ特集 *



97/05/09

～木馬達の予想～

本紙 トゥインクルダンディーの予想

◎シーキングザパール ○ブレイブテンダー

▲パームシャドウ、オープニングテマ △マイネルマックス

今回の出走メンバーを見ると、天皇賞同様有力馬は限られると思われる。その中でも本命はシーキングザパールしかいないだろう。牝馬だけに、去年のフェビラスラフィンの例もあるし、この馬自体も阪神3歳での不可解な敗戦もあるし、時期も時期だけに100%信頼がおけるという訳ではないが、天皇賞でも来なかった武くんが、競馬雑誌にローカルな金沢での話題(しかも活字のみ)しか提供しないなどおかしい!今回は写真付き確定!

対抗はブレイブテンダー。前走前崩れの流れの中で先行しての2着は立派。騎手が武くんなら間違いなく大本命、松永、頼むからへまをせずにただ乗っかってくれ!そうすれば自ずから結果は付いてくる!

NZT4歳Sは大接戦だっただけに、「他にも有力馬はいっぱいいるじゃないか!」との声も聞こえてくると思うが、1,400m以上に不利、展開の利がほとんど考えられずに強い馬が勝つのが東京1,600m。後方からどの馬よりも速く突き抜けたシーキングザパール、ペースからして他の馬たちにも抜かれておかしくないところを2着に粘ったブレイブテンダー、この2頭と他のNZT4歳S組とでは着差以上に実力差はあると見る。従って勝負はこの1点!!(重馬場では分からないが)

他に考えられるとすれば、別路線組から、連闘の疲れが心配だが藤沢厩舎のパームシャドウ、ペースが思いのほか速くならなければ、休み明け2走めで並んでからしぶといオープニングテマくらいだが、今回はあくまでも押さえが妥当だろう。G1馬マイネルマックスはダービーが目標だけに休み明けの今回に無理をするとは思えず、さらに低い評価が妥当だろう。

(ふえら氏へのお詫び)

先週の記事(住所表示)の中に一部不備があったことお詫びします。

栄蔵の一番弟子 TP

◎…ブレイブテンダー シーキングザパール

△…マイネルマックス、ペイストリーシェフ、ホッコービューティ

～TPの尻理屈～

第2回を迎えるNHKマイルだが、前回の教訓としては、①短距離路線を使ってきた馬より、中距離路線を使ってきた馬が強い。この事は、同じ府中の1600mのG1安田記念の優勝馬に名中距離馬が多いことでもわかる。②上位入賞馬がその後活躍していない。あの驚異的なタイムを記録したことから、上位入賞馬は軒並み人気になるのだが、まるで走らない。この事は、常に好走しなくても、一度でも良いタイムで走っていれば上位にこれるということを示している。と、いうことで、非常に参考になるのは

四国の井崎さんのタイム分析。あてにしまっせ。

まずブレイブテンダー。比較的長い距離を使われており、いわゆるクラシック路線を戦ってきた馬。前走時は、レース前のコメントでは決して万全ではなく、2ヶ月ぶりということからも叩き台として割り切っていたとみる。また、この時期の牡馬と牝馬の差は距離が長くなるほど大きくなるを見る。堅実性があるのも強み。

2頭軸でやっぱりもう1頭はシーキングでしょう。スピードは抜きんでており、最近のレースぶりも安定。1800でも勝っているし、本当に欠点がない。あえて粗を探せば、減り続けている体重と阪神牝馬での不可解な敗北。体重については、中間もびっしり追っているから問題無いだろう。心配なのは血で、淡泊な外国血統は競り合った時、牡馬と牝馬の違いとともに、根性の無さを露呈するのではないかと。実際、直線での叩き合いになった時の強さは見せていない。

さて、その他だが、やはり力はあるマイネルマックス。全く休んでいたわけではなく、競り合いに強いタイプで、直線で叩き合いになれば底力が物を言いそう。特に道悪になれば好都合。面白いのはペイストリーシェフだろう。左回りが得意だし、一貫して中距離を使ってきたのも好感が持てる。前走は休み明けで明らかに距離不足。小野チンも「パンパンの馬場が合う」といっているように早い馬場はもってこいだ。ホッコービューティも侮れない。シーキングとは勝負付けが済んだ形だが、前走は大幅馬体増。距離も1600がベスト。

パームシャドウは、いかにもローテーションがきつすぎ。このレースに出るため無理使いしたし、すんなり運べないと危うい。

どうも、まるで調子が出ないなあ。現在の回収率63.8%

こだわりの“へな”

◎…オープニングテマ シーキングザパール

△…パームシャドウ ヒコーキグモ ブレイブテンダー

…“へな”の理屈…

シルクジャスティスは期待どおり強かった。でもこれで本番でも人気になってしまう…。もうメジロブライトとの1点勝負しかないね。楽しみです。それにしてもヒダカブライアンは骨折してしまうし、テイムトップダンはビリとは。なんだか寂しいですね。

さてNHKマイルC。メンバーを見るとNZT4歳Sとほとんど変わらず、シーキングとブレイブでいいかなとも思ったが、あえて前残りの傾向を加味して叩き良化のオープニングテマに期待。800万の抽選待ちの中にも2着に食い込んできそうな良い馬がいるので注意したい。

～“ふえら”さんへ～

元気で頑張ってますでしょうか?依然に約束した麻雀を早く実行しましょう。あなたと連絡を取りたいのですがいつもいないようなので…。隣のミスターXにも催促されていますのでよろしくお願ひします。

いやァー天皇賞のトップガンは本当に素晴らしかったですね。感動しました。前日に「THE DOG OF FRANDERCE」を見にいった私はずうとチョベリブでした。そんな私を爽快にしてくれたのはやっぱりトップガンでした。感謝感謝です。田原騎手もなげキスを忘れるくらい感動してましたものね。ところで、田原騎手はロッカーであるという噂は本当ですか？どなたか教えて下さい。

さてさて、NHKマイル。スピードワールドが出てこないとなったらやはり本命はシーキングザパールしかいないでしょう。どうでもいいことですが、アメリカ留学を目指し英語を学んでいる私には「ザ」の位置がどうも気になってしょうがありません。正式な節にすれば「she is the king of pearl」となります。とかく前置詞を省きたがる日本人の悪癖を考慮しても「シーズザキングパール」が正しい名称となります。「ズ」が抜けて「ザ」の位置が違う、つまり頭が抜けて座が違うということ。ようするにずば抜けて目茶苦茶強いから他の馬とはいる場所が違うということ。で結局シーキングザパールに◎を打ちます。対抗はとなると、私の愛読書デイリースポーツ及び私の夜のお友達東スポの両紙に評判のいいブレイブテンダーとパームシャドウをそのまま押します。そして忘れてならないのが、私が朝日杯で唯一頭評価しているマイネルマックス。いくらなんでも無様なレースはしないでしょう。ということで以上4頭のボックスでいきます。

なお、当日は母の日。競馬も大事ですが母の日も大事です。そうです梓88はみなさん忘れずに買いましょうね。

ところで、私のヒダカブライアンがまたもや骨折してしまいました。淋しいな。早く復活してきておくれ。その時は大川さんにけちをつけられないようトモにしっかりと肉をつけてくんだぞ。まってるからね。菊花賞は君が◎だ！

◎シーキングザパール ○ブレイブテンダー
▲パームシャドウ、マイネルマックス

P. S. 前回、へな、ミスター×両氏に麻雀のお誘いをしたところ、へな氏からは良い返事がかえってきたがミスター×からはなんの返事も返ってこぬではないか。お主は何をやっても逃げ腰じゃのう。まっ、貴様には逃げる姿が一番にあっておるわ。ハッハッハッ。

心配御無用！

◎：ブレイブテンダー ○：シーキングパール ▲：ペイストリーシェフ

昨年はNトロフィー組が惨敗したが、これは多様なステップを踏む馬が多かった為。今年はこのステップ以外の有力馬がおらず、Nトロフィー組の再戦と見た。

Sキングパールは距離伸びてあの末足が使えるか一抹の不安があり押さえまで。逆にBテンダーは距離延長と先行力もあり、安定度では一番。Pシェフは前走は明らかに距離不足、左回り得意、距離延長が大きく有利に。

ライスシャワシャワ

ライスシャワのヨソウはよそう？

◎ ブレイブテンダー ○ マイネルマックス
▲ シーキングザパール パームシャドウ

スピードワールド vs シーキングザパールとなるはずだったマイルC。捻挫により回避したスピードワールドがいないこのメンバーでは、NZT を圧勝したシーキングだけが目立ってしまうのも仕方ないでしょう。昨年は的中させているレースなので、今年も当たればいいのですが...

本命は、ブレイブテンダー。前走・NZT ではシーキングの2着と負けはしたが、ハイペースを追走し、勝ちに行っているものだけに、後ろから差されたのは展開のアヤに過ぎない。ハイペースを読んだ後の方待機から直線一気のシーキングよりは良い内容であった。負けて強しの結果だったように思う。4才のこの時期になれば、何だかんだ言っても牡と牝の差は出てくるはず。NZT から中2週でしかないが、上昇度と言う点では、牡馬のほうが上であると確信する。

一方、シーキングはと言えば、同じ脚がもう一度使えるか？ということ。確かに強い馬ではあると思う。気性面でも成長している。しかし、NZT は武の乗り方がうまく、「ハマった」と言う方が適切なのではないか。昨年もそうであったが、あまりにもNZT の勝ち方が良すぎたファビラス嬢が直線失速している。同じことが起きないとは言えない。NZT も断然人気だったとはいえ、しょせんはG II。本番とはまったく別物である。それでも、直線一気を決められたときには、素直に強さを認めるまで。ということで、評価は▲。

ブレイブの相手には休み明けを承知で、マイネルマックス。ダービーへの一叩きかもしれないが、カッコはつけてくれるものと信じる。今年の春、サンデーを差し置いて大ブレイクしているブライアンズタイム産駒。流行には乗ってみるものでしょう。というのは冗談ですが、そこはG I馬、出てくるからには、それなりの仕上げと見るのが自然。持ち時計はないが、毎回相手なりにレースをしてきた馬。十分対応してくれるだろうし、差してくるこの馬には、展開も味方するものと思う。

以下は、NZT で掲示板を外した連中の巻き返しは考えにくい。むしろ別路線組から探すのがスジ。使い詰めではあるが、33秒台の持ち時計のあるパームシャドウ。

予想はウソヨ 四国の井崎

今年のG Iは2勝1敗と思っていたら、フェブラリーSを忘れていた。馬券的中は3本だが収支は2勝2敗である。昨年は大負け越しだけに今年はなんとか勝ち越したいものだ。本家井崎氏は最近1点予想と男らしくなっており、見習わなければならないと思っている。

昨年は超ハイペースでファビラスラフィンが潰れ、タイキフォーチュン、ツクバシンフォニーと決まったが、「東京マイルG Iは2000mをこなせる馬でなければ来れない。」と痛感した。今年はほとんどの馬がマイルまでの経験しかないスピード馬が揃った。そこで2000mの連対馬と言えばブレイブテンダーしかいない。もう本命はこれっきゃない。スーパーナカヤマも昨年暮れにエアガッツの微差3着がありギリギリ合格とする。一応武シーキングは押さえないといかんだろうがG Iでのポカの前科があるだけに昨年のラフィンの2の舞いもあり得る。ブレイブの単で勝負。

◎ブレイブテンダー ○スーパーナカヤマ ▲シーキングザパール

タイム評価

1500万級の時計を計時した馬は7頭。勝つのはこれから出るでしょう。

A	シーキングザパール	+0.7	-1.1	+0.8
B	スーパーナカヤマ	+0.8	+0.6	+0.4

第2回 NHKマイルカップ

C ブレーブテnder	-0.5	-0.3	+0.6
グリーンプラン	-1.0	+0.9	+0.4
ワシントンカラー	+0.4	+0.8	+0.1
スタープログラマー		+0.5	+0.9
ダイワウエスト	+0.2	+0.6	+0.4

マイネルマックス	-0.1	-0.1	+0.0
パームシャドウ	-0.9	+0.2	-0.1

利口なTP 当たらない予想

鬼脚爆裂

NZTの直線を見た時本当にびっくりした。久々に鬼脚を見たような感じがした。天皇賞でのミスターシービーとデュナムキングのダブル鬼脚、スプリングSでのマテリアルの鬼脚、東京ダートのニシノエナの鬼脚、これらに匹敵するような印象を受けた。

それほど見ていて、スカッ、とする追い込みだった。確かに追い込み脚質というのはG2までは通用しても、G1では不発に終わるといふ危険性は大きいにある。だが今回はこのシーキングザパールの鬼脚追い込みを信用してみたい。現時点で、この馬と対等に競馬のできる4才馬はスピードワールドだけであろう。スピードワールドが出ないのならば恐いものは何も無い。己の鬼脚を信じ、豪快に差し切るが良い。

相手1番手としては、ホッコウビューティー。シーキングザパールに不利があり、ホッコウビューティーが完璧なレースができた場合逆転まで考えられる。この2頭の組み合わせを大本線にしてみたい。真珠と美の組み合わせ、実に美しい組み合わせだ。後はNZTで隠れ”子鬼脚”を使っていたオースミジェット。共同通信杯でメジロブライトときわどい勝負をしていたペイストリーシェフ。皐月賞組で東京に変わって激走するかもしれないショウナンナンバー、ノーマークで気楽にのれるキタサンフドー(キタサンフドーで思い出したけど、この前大井で見た、さぶちゃん35周年記念の金と銀のそろいのジャンパーは目立っていたなー)。NZTで2着につっこんでいたら、2週連続で「万券的中、大西君万歳」となっているところだったパーソナリティワン。一応久々でもG1馬マイネルマックスまで。

◎ シーキングザパール

△ホッコウビューティー、オースミジェット、キタサンフドー、ショウナンナンバー、パーソナリティワン、ペイストリーシェフ、マイネルマックス

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号	馬名	騎手
			パーソナリティワン	パームシャドウ	ヒコーキグモ	ワシントンカラー	ブレーブテnder	シーキングザパール	ショウナンナンバー	シルクムスタング	ペイストリーシェフ	マイネルマックス	ロイヤルブルー	ダイワアンジェラ	スーパーナカヤマ	オースミジェット	タイキギョラクシー	ホッコウビューティー	オープニングテーマ	キタサンフドー			
			大西	岡部	蛸名正	柴田善	松永幹	武豊	吉田	久保田	小野	佐藤哲	郷原	江田照	的場	福永	後藤	熊沢	小池	高橋亮			
				▲			○	◎				△							▲				トウインクマンデ
							◎	◎			△	△						△					TP
				△	△		△	◎											◎				へなりん
					○		△	◎	△			△						△	▲				ドロジョ
					△	▲	○	◎				△			△				△				おけらくん
					△		◎	○				▲			△				△				YO
			◎				△	◎				△		△									ミスターX
				▲			○	◎				▲											ふえら
					◎	◎	△	△															ムーン
							◎	○			▲												心配御無用!
			△	△			○	◎				▲							△				ラッキー
				▲			◎	▲				○											ライスワッパ

	天春	NHK	高松	ホクス	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋	菊花	川女	マイルC	JC	阪北	朝日	S	有馬	717	桜花	皐月	天春	
トウインクマンデ			◎													☆						
TP			○													☆						
へなりん			◎																			
ドロジョ			○																			
おけらくん			○																			
YO			○																			
ミスターX			◎																			
ふえら																						
ムーン																						
心配御無用!																						
ラッキー																						
ライスワッパ																						

○...~20倍 ◎...20~50倍 ☆...50倍~

グリーンプラン、スタープログラマーが抽選落ちしましたので、各人の印は、事務局で変更させていただきましたので、ご了承ください。

ふえら君は、seeking「探す」という単語を知らないようです。シーキングザパールとは、「真珠を探す」という意味なのです。こんなことで、留学できるのか、大いに不安になってしまいます。

次号は、高松宮杯特集です。よろしく。